



期間 令和5年1月12日(木)～2月9日(木)[全5回]

実施場所 旧大阪商船(門司区)、下関市生涯学習プラザ(下関市)、
旧古河鉱業若松ビル(若松区)ほか

申込・問合せ先 生涯学習総合センター
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43
TEL:571-2735 FAX:571-0943

時間 10:00～12:00

応募締切

12月27日(火)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



スポット受講
詳細は2ページ

料金

1,000円/回
初回1回のみ

定員 30名

受講料 2,500円

受講生への
メッセージ

コーディネーター：関門海峡日本遺産協議会

関門海峡と門司港レトロや若松南海岸、下関の海峡沿いに立ち並んでいるレトロな建物たち。この風景は、海の道と陸の道の交差点という関門海峡の特別な役割と、幕末以来のこの国の歴史が作り上げました。そのストーリーが日本遺産 ※「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶」に認定されています。

この講座では「関門“ノスタルジック”海峡」を構成する文化財のいくつかを「深ぼり！」し、そこに隠された物語と関門海峡が歩んできた160年の歴史をひも解きます。

※日本遺産：地域の文化財と歴史、伝承、風習をひとつのストーリーにまとめたものを文化庁が認定したもの。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	1/12 (木)	関門“ノスタルジック海峡”を 100倍楽しむ方法 ノスタルジックな雰囲気漂う門司港、若松、下関。 このまちを繋ぐストーリーを知ることで、まちあるきが100倍楽しくなるかも？！ ★深ぼり！：日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」 会場：旧大阪商船ビル(門司区)	関門海峡日本遺産協議会 立野 康志郎
2	1/19 (木)	ここがまさに時代のターニングポイント！ ～下関・前田台場幕末物語～ 幕末、長州藩と欧米4か国との関門海峡での戦いが日本の近代化の幕開けとなりました。その舞台となった前田台場跡での発掘調査と、下関戦争がもたらした関門海峡近代化についてお話しします。 ★深ぼり！文化財：前田台場跡(下関市) 会場：下関市立近代先人顕彰館 田中絹代ぶんか館	下関市教育委員会 文化財保護課 主任 中原 周一
3	1/26 (木)	先人の足跡 若松の幕開け ～古河市兵衛・渋沢栄一と安川敬一郎～ 全国の実業家が注目した若松。古河財閥の創始者古河市兵衛や渋沢栄一と地元財閥の安川家に焦点を当ててお話しします。 ★深ぼり！文化財：旧古河鉱業若松ビル 会場：旧古河鉱業若松ビル(若松区)	旧古河鉱業若松ビル 館長 若宮 幸一
4	2/2 (木)	下関の街はくじらによって作られた!? ～下関と近代捕鯨の幕開け～ 旧東洋捕鯨株式会社の社屋として建てられた建物を中心に関門海峡近代化と近代捕鯨の関わりについてお話しします。 ★深ぼり！文化財：蜂谷ビル(下関市) 会場：下関市生涯学習プラザ(下関市)	下関市立大学 特命教授 岸本 充弘
5	2/9 (木)	関門の近代建築から世界が見える！ ～レトロデザインのルーツをたどる～ レトロ建築も建設当時は世界最先端の流行を敏感に感じ取って設計されていました。関門エリアの力強い近代建築の魅力に迫ります。 ★深ぼり！文化財：旧英国領事館(下関市)、門司港駅(門司区)、旧古河鉱業若松ビル(若松区) 会場：旧大阪商船ビル(門司区)	西日本工業大学 教授 水野 貴博